

**特定非営利活動法人全国女性会館協議会 第 61 回全国大会  
実施報告書**

1	日時	2017年12月2日(土)、3日(日)
2	会場	福島県男女共生センター(女と男の未来館)、他
3	主催	特定非営利活動法人全国女性会館協議会 公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構
4	共催等	共催:福島県 協賛:日本テトラパック株式会社 協力:ノルウェー王国大使館
5	主題	課題に向き合い、地域につなぐ、私たちの使命
6	募集方法	①会員館メーリングリスト ②チラシの配布 ③ホームページ、メールマガジン
7	プログラム	<p><b>1 第1日:12月2日(土)</b></p> <p>(1)開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆主催者挨拶 福島県知事 内堀雅雄 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事 納米恵美子</li> <li>◆来賓祝辞 内閣府男女共同参画局 局長 武川恵子 文部科学省生涯学習政策局 局長 常盤 豊</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>(2) 第11回事業企画大賞表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業企画大賞(1事業)、奨励賞(3事業)、特別賞(1事業)表彰</li> <li>・講評 審査委員長 藤野美都子(福島県男女共同参画審議会会長)</li> <li>・事業企画大賞 大賞事業紹介 「女性による元気な地域づくり応援講座(元気塾)」事業 福岡県男女共同参画センター「あすばる」</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(3) 基調講演&パネルディスカッション

「災害・復興と福島の女性たちの今」

◆基調講演

講師: 千葉悦子(福島県男女共生センター館長)

◆パネルディスカッション

パネリスト:

苅米照子(NPO 法人ウィメンズスペース・ふくしま代表)

菅野瑞穂(きぼうのたねカンパニー株式会社代表取締役)

富田 愛(NPO 法人ビーズふくしま みんなの家@ふくしま 事業長)

吉田恵子(富岡町社会福祉協議会 事務局次長)

コーディネーター:

藍原寛子(ジャーナリスト、Japan Perspective News 株式会社 代表)



(4) 全国女性会館協議会全体会

協議会より事業説明・報告、連絡・周知事項の伝達

(5) 情報交換会

2 第2日:12月3日(日)

(1) バス視察

原発事故により避難区域となり、現在は避難指示解除となった地域を中心に視察。

◆ガイド: 大和田新(フリーアナウンサー)

北村育美(福島大学 経済経営学類ふくしま未来・食農教育プログラム/プロジェクト研究員)

◆視察内容

① 川内村コミュニティセンター

講話: 遠藤雄幸(川内村長)

秋元洋子(川内村婦人会長)

② 浪江町立請戸小学校跡

③ 浪江町役場、仮設商店街まち・なみ・まるしえ

④ 飯館村交流センター「ふれ愛館」

講話: 菅野典雄(飯館村長)

渡邊とみ子(までい工房美彩恋人代表)

⑤ 全体総括・振り返り(車中)



8	事業企画 大賞	<p>(1)事業企画大賞</p> <p>◆事業企画大賞 福岡県男女共同参画センター「あすばる」 「女性による元気な地域づくり応援講座事業(通称「元気塾」)」</p> <p>◆奨励賞 浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター「あいホール」 「男女共同参画の視点からの地域防災を成り立たせるための女性防災リーダー育成事業」 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 「『働く女性のネットワーク三重』構築事業」 川崎市男女共同参画センター「すくらむ 21」 「情報提供事業 シングルファーザー事例集 『みんなどうしてる? 川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました』」</p> <p>◆特別賞 城陽市男女共同参画支援センター「ぱれっと JOYO」 「京都府立城陽高等学校放送部が“高校生のことば”で高校生に届ける『デート DV 防止啓発』放送 CM』制作事業」</p> <p>(2)審査委員</p> <p>◆審査委員長 藤野美都子(福島県男女共同参画審議会会長、福島県立医科大学教授)</p> <p>◆審査委員 山口純一(福島県商工会議所連合会副会長、二本松信用金庫会長) 角田 仁(福島県生活環境部男女共生課長) 柴田美代子(特定非営利活動法人全国女性会館協議会 常任理事) 千葉悦子(福島県男女共生センター館長、福島大学副学長)</p>																																																																																	
9	参加者数、 アンケート結 果	<p>◆参加者数 会員館関係者:103人 参加会員館数:46館 一般参加者数:40人</p> <table border="1" data-bbox="406 1388 1449 1993"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加者数</th> <th>回収数</th> <th>アンケート</th> <th>大変満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業企画大賞</td> <td>143</td> <td>39</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>基調講演</td> <td>143</td> <td>39</td> <td>27</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>パネルディスカッション</td> <td>143</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>全体会</td> <td>98</td> <td>35</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>情報交換会</td> <td>98</td> <td>37</td> <td>25</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>バス視察</td> <td>85</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>川内村講話</td> <td>85</td> <td>38</td> <td>29</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飯舘村講話</td> <td>85</td> <td>37</td> <td>29</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>振り返り</td> <td>85</td> <td>36</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		参加者数	回収数	アンケート	大変満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	事業企画大賞	143	39	23	15	1	0	0	基調講演	143	39	27	10	2	0	0	パネルディスカッション	143	40	37	3	0	0	0	全体会	98	35	22	12	1	0	0	情報交換会	98	37	25	12	0	0	0	バス視察	85	38	34	3	1	0	0	川内村講話	85	38	29	9	0	0	0	飯舘村講話	85	37	29	8	0	0	0	振り返り	85	36	19	12	5	1	0
	参加者数	回収数	アンケート	大変満足	やや満足	やや不満	不満	無回答																																																																											
事業企画大賞	143	39	23	15	1	0	0																																																																												
基調講演	143	39	27	10	2	0	0																																																																												
パネルディスカッション	143	40	37	3	0	0	0																																																																												
全体会	98	35	22	12	1	0	0																																																																												
情報交換会	98	37	25	12	0	0	0																																																																												
バス視察	85	38	34	3	1	0	0																																																																												
川内村講話	85	38	29	9	0	0	0																																																																												
飯舘村講話	85	37	29	8	0	0	0																																																																												
振り返り	85	36	19	12	5	1	0																																																																												

10	感想	<p>○「福島の女性たちの(これまでと)今」の一端を具体的に知ることができ、言葉ではあらわせない困難な経験を推察するとともに、女性たちが前を向いて努力されている様子に心打たれるとともに、心強く思った。</p> <p>○基調講演のデータ等にジェンダー視点がほしかった。被災状況、復興状況の中で女性はどうであるのか、性別データがないことの問題などの指摘が必要ではないかと思う。全体会では事業の実施状況、これからの計画がよくわかった。情報交換会では新しい方と知り合えたことはよかった。</p> <p>○福島の今をととてもいねいに見せていただき感謝の言葉しかありません。ただの見学ではなく、“スタディツアー”を成立させてくれたと思った。</p> <p>○様々な分断の中でコミュニティーの大切さ、相談事業の大切さ、一人ひとりを尊重する男女共同参画社会の考え方の大切さ、そしてリーダーシップの大切さなど多くの気づきを、いかにセンターの事業に活かすことができるのか重い課題をいただいた。</p> <p>○基調講演で投げかけられた平時からのセンターのあり方も含めて、当センターの中で意識共有をはかり、今後のセンターの運営や事業へ反映していきたい。様々な意味で、学ぶべきものの多い大会だった。</p> <p>○バス視察そのものはよかったのですが、女性視点でのトークがあればよりよかった。</p> <p>○すべてのテーマで大変勉強になり、改めて男女共同参画社会の推進に役立つものとなった。基調講演では、震災発生から6年8カ月が経過してからの課題を理解することができた。また、バス視察では、普段では見ることも聞くこともできない経験ができ、改めて震災に伴う津波・原発被害の甚大さを理解することができた。</p> <p>○相談等男女に特化した支援・行政・専門機関・地域との連携の重要性がいかに大切か知ることができた。「まだ本当の復興はしていない。長期的に支援する必要がある。」と語った千葉館長の言葉には、心に刺さるものがあり、当センターとしても今後の在り方について改めて考えさせられるものがあった。ぜひ機会があれば福島で開催される講座等に参加したいと思う。</p> <p>○被災者の方々への支援については、メディアを通じてある程度知っているつもりだったが、今回、パネルディスカッションに登壇いただいた皆様の活動をより詳しく知ることによって、まだまだ多くの人々に知られていない地道な活動に尽力されておられる方が多くいるということあらためて認識するとともに、そういった方々が尽力されている姿に感銘を覚えた。</p> <p>○講師・パネリスト等の被災当初から、これまでの活動・取り組みが、二日間の中であがり、良く分かった。タイトな日程の中で不可能だったかもしれないが、質疑応答の時間が全くなかったのが残念。</p> <p>○初日のプログラムでは福島で活動する女性たちのお話を聴くことができ、2日目の視察では実際に現地に足を運んで今の様子を感じることができて、とても有意義な研修だった。</p> <p>○基調講演、パネルディスカッションと第一線の現場での取り組み内容はいろんな機関が一体となって取り組む必要性を切実に感じるとともに、人の力強さに勇気をもらうこと</p>
----	----	---

		<p>ができた。二日目のバス内でのお話しは、一人ひとりの「想い」そして「生きる」ということを深く考える機会となった。その中でも一次産業の女性たちの取組がいかに復興の力となっているかを実感した。防災と男女共同参画を啓発していく中に女性たちの「地域が好き」、「そこで生きている」という地域を想う気持ちをその土地に根差した活動で培っていくことも併せて事例として伝えていきたい。有意義で衝撃的な二日間をありがとうございました。</p>
11	主催者感想	<p>全国女性会館協議会事務局の皆様、会員館の皆様、個人会員の皆様、この度は、御参加いただき、また、多大なる御支援をいただきありがとうございました。</p> <p>福島県男女共生センターでの開催は2度目になりますが、前回(平成14年)の開催時とは事情が変わり、今の私たちにこのような大きな事業を実施できるのだろうかという不安を抱えながらも、事務局をはじめ多くの皆様に支えていただきながらやり遂げることができました。センター内でも立場を超えて職員が一丸となり、一人一人が力を発揮して取り組むことができことは、得難い経験となり大きな収穫でした。</p> <p>さて、今回の全国大会では、東日本大震災後の福島の今をどのように伝えるか、どうしたら伝わるか、そしてそれをどのように自分たちのセンターの課題として持ち帰ってもらえるかを、事務局と職員が議論しながら企画してきたわけですが、参加者の皆様がこうした趣旨や意図をきちんと受け取ってくださったことが、アンケートの感想からも知ることができました。</p> <p>この度は、このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。また来年、沖縄でお会いできることを楽しみにしています。</p>